

第6回 議員定数等議会改革推進特別委員会記録

日時：令和2年3月10日(火)

13時30分～15時25分

場所：第4委員会室

【出席者】 牛尾委員長、西川副委員長、沖田委員、小川委員、笹田委員、佐々木委員
西田委員、西村委員

【議長・委員外議員】

【事務局】 古森局長、篠原書記、新関係長

議 題

1 議員定数等について

(1) 予算に占める議会費の割合について

資料 1

(2) 市民アンケートの実施（案）について

資料 2

(3) その他

2 政務活動費について

(1) 資料購入費について

資料 3

(2) 広報費について

資料 4

(3) その他

3 行政視察について

資料 5

4月16日～17日 兵庫県豊岡市、宝塚市

4 その他

○次回開催 3月27日(金) 10時00分 第4委員会室

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開議 13時30分)

牛尾委員長 第6回議員定数等議会改革推進特別委員会を開会する。全員出席している。
早速議題に沿って進める。

議題1 議員定数等について

(1) 予算に占める議会費の割合について

牛尾委員長 篠原次長から説明をお願いする。
篠原書記 (以下、資料1をもとに説明)
牛尾委員長 この件について何かあるか。
予算に占める割合から言えば1%はかけて良いのではと言われていた時代があった。これも1つの目安であり貴重な数字である。浜田市議会にかけるお金そのものが高いいところに位置付けられているわけではない。
この件はよろしいか。
(「はい」という声あり)

(2) 市民アンケートの実施(案)について

牛尾委員長 篠原次長から説明をお願いする。
篠原書記 (以下、資料2をもとに説明)
質問2の選択肢の中に「F 関心がない」を入れる。
牛尾委員長 議会報告会では冒頭に正副議長に説明してもらい、その場でアンケートを書いてもらうのか。
篠原書記 受付の時点でお配りしても良いと思うが、その後に冒頭にお話いただき、協力いただく流れではないかと思う。
牛尾委員長 広報委員会ではお話しているか。
西川副委員長 冒頭に説明はあるがアンケートのタイミングの話はしていない。
牛尾委員長 頭に残っている状態で書いてもらうのが良い。
佐々木委員 議会改革しか書いてないが、役割や責任がどう増えてきたか、変わりようを説明しないと市民は知らないと思う。せいぜい議会だよりが関の山だが、あれでは内容は分からない。冒頭のタイミングでやってもらった方が良い。
牛尾委員長 議会改革と行動や活動というタイトルでやらないと、市民と議会の関わりが分からないだろう。
佐々木委員 大前提をしっかりと伝えて、議会にこれだけの定数が必要だという話に持っていければ一番いいが。
沖田委員 問4で何人が適当だと思うかと聞いているが、我々でも分からないものを、わかる人がいるのだろうか。
牛尾委員長 この設問がある以上は、正副議長が冒頭に触れるのだろう。でない

	<p>適当だという根拠が分からない。</p>
佐々木委員 笹田委員	<p>話の内容はどこかで詰めないといけない。</p> <p>正副が言ってくると答えが変わってくる。逆に議会だよりを見て書く人は、定数の概念が分からないと思う。わかるような内容にしてからアンケートを取らないと、意見の出方が違ってくる。井戸端会のような流れで議会だよりでもアンケートを取ってほしい。</p>
牛尾委員長	<p>常任委員会をベースにして、議員が何人くらいで議論するのが良いのかということやってきたという話を、どこまで書くかだ。</p>
笹田委員	<p>正副議長が井戸端会で話す内容を議会だよりに載せてもらうのがベストだと思う。お手数だがわかりやすく端的に説明してほしい。</p>
牛尾委員長 佐々木委員	<p>1ページもらっているなら十分書けるだろう。</p> <p>イメージとしては先ほど言ったようなことがあって、人口が減ったからといって議員も削減していいわけではなく、むしろ地方分権でますます責任は重くなっている。それを議論するのに委員会として何人必要なのか、ひいては市民生活に影響するのだということをしっかり訴えたい。</p>
牛尾委員長	<p>今までのアンケートはどちらかと言うと、丸投げで好きに点数をつけてもらうような乱暴なことをしてきた。それではおかしい。今回はきちんとしなければいけない。できれば一度見せてもらえれば。</p>
小川委員	<p>境港でもこういう議論になっている。アンケート項目も専門家の意見を踏まえて作っている。議会改革の中身で、議会が果たす役割で4つくらい挙げている。具体的な議会改革を通して満足度を聞いたり、あなたは議員に立候補する気があるかという項目まであった。ある程度ものさしというか、こういうことはあって判断して欲しいという投げかけが必要である。議員は要らないと言う人はいまだにいる。市民の中にはいまだに議員年金は3期やればもらえろと思っている人もいる。何も基準なくアンケートを取るのはどうかと思っていた。境港はQ&Aもホームページに掲載している。かなり丁寧にアンケートを取られている。</p>
牛尾委員長	<p>結局、境港の結論は新しい議会に任せるという先送りになったが。</p> <p>今のような設問を、6に入れるか。あまり項目が多いのもつらいだろうし。</p>
沖田委員	<p>全国的に若手議員のなり手不足が深刻化している。議員報酬は民間より多いかもしれないが、福利厚生がまったくない。ざっくり言えば年収500万円で個人事業主になるのと同じ。しかも4年に1回選挙がある。決して処遇は良くないと思っている。こういう事実も伝えていくべきでは。若手がなりやすい環境を作るのも議会改革の1つだと思っている。</p>
牛尾委員長	<p>標準的な議員の給与明細を載せている議会もある。報酬はこれで、手取りはこれだと。議員のなり手が無いと言われるが、東広島市は8人くらいオーバーしている。町村はなり手不足をよく聞くが、市はそういう話はあまり聞かないような気がするのだが。</p>
篠原書記	<p>大田は無投票だったことがある。浜田ではまだない。</p>

牛尾委員長 今の分を書こうと思うと、質問という形の中に例えばあなたも議員になってみませんか？ 条件はこんな。

笹田委員 議員定数に関するアンケートなので、そこまで掘り下げる必要はないのでは。あくまでも我々が定数を決めることに関するものなので、あまり量を書きすぎると何を狙いにしたアンケートなのか分からなくなりそうな気がする。

牛尾委員長 笹田委員の意見は貴重だ。ここ数年来、議員定数を考えるときに、市民からは多いという露骨な批判の中で決めてきた。前は検討はせず。議長なんでもメールで議員定数に関する批判も来てないだろう。

篠原書記 定数については来ていない。

牛尾委員長 沖田委員の意見も貴重だが、今回はそこまでする必要はないのではなか。深堀すればきりがいい。

笹田委員 質問 5 で、A から G までであるが、これもフリーで書いてもらう方がよい気がした。

佐々木委員 財政状況だとか、これはもう 10 年前の話で、今はそうではない。旧態依然の質問を変えた方がよい。

笹田委員 フリーで書いたほうが分かりやすい。財政規模など議員になるまでわからなかった。増やすか減らすか、どちらか適当だと思った根拠を自由に書いてくれるはずだ。

佐々木委員 お考えを示してもらうのが一番いい。出すなら旧態依然の項目を出すと、昔の考えを引きずらせることにつながりかねない。

笹田委員 これだと A から E は減らす理由になる。率直な意見を聞いた方がよい。

牛尾委員長 ここを何もなしにしたら何も書き込まないかもしれない。

笹田委員 そこに、適当な理由があれば書くと思う。多すぎだと思うならそう書くだろう。

牛尾委員長 どういうことを基準に 24 人の定数を決めたのかは正副議長に説明してほしい。

西田委員 質問 2 や 3 だが、市民の立場からすると、知らない議員の活動に対する印象が違う。質問 3 は、言いやすい人とそうでない人がいるから B にしようと、自分なら選ぶ。ふわっとした答えになる。

例えば質問 3 なら、「あなたの考えや意見がすぐに伝えられる議員が何人いるか、複数いるか」といった方が具体的なつながりができる。

牛尾委員長 時間をかけるとどんどん良い案が出る。

佐々木委員 西田委員の意見に大賛成。議員削減、削減できており、余計に関心がない人が増えてきている。話せる議員がいるかどうかは判断材料になる。分かりやすい。

牛尾委員長 質問 3 はいまの案に変えよう。質問 2 はどうか。浜田市議会の活動をご存知か、知っているものを 1 つでも 2 つでも。

佐々木委員 浜田市議会の活動情報を何で収集しているか、はどうか。

牛尾委員長 浜田市議会の活動情報をどこで収集しているか。質問 2 はそのように

	変更する。
篠原書記	回答例はどうするか。 (「議会だより、ケーブルテレビ、ホームページ」という声あり)
西村委員	質問 3 は、どうしたらあなたの声が市議会にもっと反映されると思うか。
笹田委員	知っている議員がいるかどうかとは違うから、設問を増やすということか。
西村委員	3 を変えたらいいという話ではない。増やす。
牛尾委員長	3 とは別に。
西村委員	別に、声が反映される術は議員だけではない。
牛尾委員長	なるべく設問は少ない方が良い気がする。もう少し集約できないか。
沖田委員	多いようには思わない。気にならない。
牛尾委員長	西村委員の意見をいれて、それを質問 4 にするか。 (「はい」という声あり)。
西村委員	あなたの意見が、どうしたらもっと市議会に反映されると思うか。
牛尾委員長	質問 3 は、西田委員もう一度お願いします。
西田委員	あなたの声が届く議員が何人いますか。
新開書記	西村委員の、質問 4 の選択肢はどうするか。
沖田委員	なんとなく丸するより書き込む意見が大事だと。
西村委員	そう思う。
牛尾委員長	時間に限りがある。選択肢があるほうが早い。
笹田委員	6 をなくして、そこに西村委員の提案を載せたらどうか。
牛尾委員長	それは良いかもしれない。
笹田委員	大体質問 6 のような内容は井戸端会でも聞いている。
古森局長	要望をたくさん書かれる人がいる。
牛尾委員長	では西村委員の案は質問 6 に持っていく。 (「はい」という声あり)
古森局長	1 はそのまま、2 は情報収集がどこか、回答例をあげる。3 は声を伝えられる議員が何人いるか、0、1、2、3 以上、質問 4 はそのまま、5 はフリー記載、6 は西村委員の言われた案をフリー記載にする。
牛尾委員長	そのとおりでよろしいか。 (「はい」という声あり)
	一度まとめて流してもらおうか。
篠原書記	今月末あたりに議員の皆にメールかペーパーで流す。

(3) その他

牛尾委員長	その他、議員定数の関係で何かあるか。
笹田委員	今まで出していた資料、面積や人口比率、今回のパーセンテージ、ああいうのを 1 つにまとめたような資料ができないかと思うのだが、難しいか。3 つくらいが比較できるようなもの。

牛尾委員長
古森局長
笹田委員
牛尾委員長

横開きのペーパーでできないか。
類団で調べたものと、人口で調べたものと、定数で調べたものがある。
1枚もので見られるものがあると良いと思ったのだが。
他にはよいか。

(「はい」という声あり)

牛尾委員長

先日の藻谷さんの講演会の際、江津の前議長と現議長に会った。議会運営どうかという生の声を聞かせてほしいと申入れしたら、5月中ならうちも大丈夫だと返事をもらっている。近隣にそういう事例があるので、もし皆の意見がまとまれば向こうの正副議長や議運委員長くらいに出てもらって意見交換を一度、僕らでかけていって様子を聞くことをお願いしている。必要なければいいし、僕らで分からない壁にもぶつかっているだろうから、もしよければ日程を詰めた。いずれにせよ5月中と投げかけているので、了解が得られれば日程をおさえたい。
では、この件は以上で終了する。

議題2 政務活動費について

(1) 資料購入費について

牛尾委員長
篠原書記

篠原次長に説明をお願いします。
(以下、資料3をもとに説明)

該当者3名と、議会改革特別委員会に出ている話を説明した。理解を示す方、やはり政務活動費でみてほしいと言う方がいたが、今後については理解をいただいた。

事務局としては、3分の1までは、職業にかかる新聞も出して良いのではないかという考えである。

牛尾委員長
篠原書記
牛尾委員長
篠原書記
牛尾委員長

農業新聞の単価はいくらか。
月額2,623円。
家の光は。
家の光は年間8,639円程度。

監査委員にチェックしてもらうのは、外部監査だとコストがかかるので市の監査にチェックしてもらおうという流れ。指摘は対応しなければいけないと受け止めなくてはいけないと思っているが、現状では農業新聞や家の光など、3名の議員が該当する。ご意見を賜りたい。

西田委員

線引きが難しい。元職業だったり、政務活動費にかかるものとそれ以外の線引きも難しい。農業以外の方が農業新聞を取るのとはOK、農家だったら駄目というのも難しい。書籍はすべて一般質問にかかわると言えばかかわる。

監査からの指摘は重いので、それには答えるようにはしなければならない。

牛尾委員長

政務活動費の費目があるが、バランスを考えると、ここだけで4万円くらいかかるのはかかりすぎだろうというものもある。他の方はどうだろ

佐々木委員

うか。

線引きは難しいが、監査委員が指摘したのは全国の判例を見て気を付けた方がよい点だと思う。まず議会で質問等に使うものは絶対条件だと思う。ただ見て終わりではダメなので。活用されているもので、ここにあるように3分の1くらいのところで見るとが適当ではないかと思う。

農業新聞や家の光を議会活動にまったく使っていないことはないだろう。大前提は議会質問に使うものであることだとは思っている。

笹田委員

新聞の話になっているが、今後タブレットやスマホで見られる時代で、月契約で見られる。農業者でなければいいのかという問題もある。新聞は紙ベースだけではないことも含めて議論しないと、今後の流れには対応できないような気がする。

牛尾委員長

Facebook で日経 EX などを購読すると月額 2,500 円かかる。

笹田委員

今後そういうのも新聞媒体と同様に認めるべきだと思う。そこも一緒に議論した方がよい。

西村委員

社会的認知と絡むので、皆が合意すればいいというものではない。

笹田委員

各自治体でルールが違うのだろうか。

牛尾委員長

全国議長会に問合せ、どの形が適当だろうかというのがある。

篠原書記

浜田市議会で判例などを加味しながら最終的には決めていただくしかない。全国一律の決まりはないので、各議会で考え方が違う。もちろん紙ベースだけでなく、先ほど言われたことも含めて3分の1にする、領収書が出ないものも確認ができればそれで出すなど。

牛尾委員長

言葉として書くのは、ウェブ上の情報購入となるのか。ここから先の記事は有料とかあるではないか。

沖田委員

議員ナビは月額千円。毎年政務活動費に出している。

牛尾委員長

客観的に認められたら OK しないと。浜田市議会はペーパーレスでやっているのだから。

明らかに 100%政務活動費で落としているところもあるのだから。沖田委員がどうやっているの。

沖田委員

更新月になると第一法規から送ってくる。

牛尾委員長

いまの問題も併せて議論しないと、この際だし落ちがあってはいけないので。次長、参考事例を探して次回皆にお示しして、このあたりの範疇までは OK だという話をやろうか。

笹田委員

農業新聞のウェブ版もある。そういうところまで目が届かないと。何を3分の1にするのかの議論が必要。

牛尾委員長

3分の1という議論が出たのは、うちの金額が10万円だからか。

篠原書記

明確に政務活動費がかかるものという線引きがなかなか、事務局で判断するのも難しいものがあるので、判例にあるが、今はどちらかというところと明確でないものでも2分の1は見てもいいのではという判例が多いので、議員、政党、個人の3つ割で、3分の1は見ても責められないかと判断した。

牛尾委員長	この件について他に意見はないか。 (「なし」という声あり)
篠原書記	では次回か次々回か、事例を示しながら決めさせてほしい。 2 ページ目の備考だが、前は監査からの指摘で 3 つあった。宿泊料の上限をどうするか、これは前回、特別職の宿泊代から食事代を抜いたものでやると決定したので、それを備考に書かせていただいた。指摘は調査研究費にあったのだが、宿泊代は要請・陳情活動費にもあったりするるので備考に載せた。 細則の改正なので議会運営委員会で認めていただき、来年度から実施したいと思っている。
牛尾委員長 西田委員 篠原書記	朝食夕食を抜くのは当たり前の話。これでよろしいか。 具体的には領収書の金額か。 今の基準もそうだが、それこそ明確に、朝食代がいくらとなっている場合は、食事代はもともと見られない。しかし 1 泊の料金に入っている場合があるので、それは認めるしかない。明確に示してあれば抜く。
牛尾委員長 篠原書記	よろしいか。 もう 1 つ確認したいのだが、議会最終日の全員協議会で、今年度の収支報告を出してほしいといった説明をする。資料購入費については今日決まらなかったのと言えないのだが、どのようにしたら良いか。
牛尾委員長 篠原書記 牛尾委員長	今日決めても今年度の頭で言ってないので。 来年度。 これだけでも決めなければいけないのか。赤旗日曜版は 100% 落としているのだが。
笹田委員	明確に政務活動費に関わるもの以外、というのが難しい。その都度の OK か NG かは誰が決めるのか。
牛尾委員長	議会改革の流れで言えば、グレーゾーンは認めないというのが基本にある。迷うようなことはすまい。例えばみなと新聞、日本養殖新聞、全部政務活動費で落ちたら楽だがそういうわけにいかないだろう。 一般紙は認めないということできているなら、一般紙以外は 3 分の 1 認めるといった方向に決めないと難しいのではないか。
笹田委員 牛尾委員長 西村委員	それが一番わかりやすいかもしれない。 もともと取っているのだろうが。 第三者視点なのだと思う。議員になる前から取っていたと思われるものに政務活動費をあてるのかという。
佐々木委員	新聞購読料が認められるもので、専門誌のみというのは、農業新聞は専門誌にあたらぬのか。なぜ農業新聞だけ話題に出るのか。
古森局長 篠原書記	うちで農業新聞を出した人がいるから。 職業との関連で言われている。職業を農業で出している人が農業新聞を政務活動費で落とすのはどうなのかという。
沖田委員	農業新聞は農業者なら否応なしに取っている場合が多分多い。

笹田委員	2 ページ目の、新聞購読料の「専門誌のみ」というのを、専門誌は 3 分の 1 と書けば良いのではないか。
佐々木委員	職業関係なしで。
笹田委員	はい。
篠原書記	書籍購入費の部分だけ 3 分の 1 とあるのだが、両方に括弧がかかるということか。
笹田委員	専門誌を 3 分の 1 と明確にしたほうがいい。
古森局長	今は全額見ている赤旗も 3 分の 1 になるが。
牛尾委員長	自分も赤旗を全額落としているが、決まればそれに従うしかない。新年度から思い切ってやってみようか。新年度からは一般紙以外の新聞は 3 分の 1。
佐々木委員	それで指摘がクリアできるのか。
古森局長	生業にしているものは認めるべきではないのではないのか、という指摘なので、3 分の 1 認めるとクリアできない可能性がある。監査委員の指摘に従うと。
牛尾委員長	3 分の 1 を自ら決める。
古森局長	すべてが生業に係る部分ではないということを監査委員には回答し、3 分の 1 でやっていくしかないのか。
佐々木委員	議会で使うのが大前提だから、ここを外したら絶対だめなので、そこをなるべく外さずに、あとは生業云々を踏まえなさいといけなさい。 あとは最終的に何か問題があつて、指摘されるのは議員個人なので、それを理解して、あくまで申請した本人の責任になる。そこを前提にすれば。
沖田委員	一般質問など、よく出てくる新聞の銘柄が島根県の地方新聞である。これはあたるのか。
牛尾委員長	当たらない。
沖田委員	でも地方紙ではないか。
牛尾委員長	一般家庭でも購入しているものを税金で落とすのは通らない。一般紙は認めないと謳っているから、ご理解いただきたい。 一般紙以外は 3 分の 1 と決めたいと思う。 (「異議なし」という声あり)
古森局長	3 分の 1 以内ではなく 3 分の 1 か。
牛尾委員長	以内だね、一般紙以外は 3 分の 1 以内を認める。いかがか。 (「異議なし」という声あり)
牛尾委員長	ではそのように決める。

(2) 広報費について

牛尾委員長	篠原次長から説明をお願いします。
篠原書記	(以下、資料 4 をもとに説明) いずれも市政を住民に知らしめるための費用とされている。広報費も

	判例が出ている。これもグレーゾーンが難しいところがあると思われる。これは今日すぐ決めるのは難しいし、広報費を認めるとなると条例改正が必要になるので、少し時間をかけて議論していただきたい。
古森局長	松江は個人では広報費は認めていない。出雲は一人会派でも OK という状況がある。
牛尾委員長	松江は会派支給と個人支給の二本立てということか。 報酬等審議会の会長から、政務活動費が少ないのでできれば上げたいと言われた。広報費も使えるよう検討してほしいと言われた。次の改選までに検討したい。次回か次々回にやりたいので、考えを温めておいてほしい。
佐々木委員	報酬審の議論もそうだが、これは定数にも影響する。議員が何をやっているか知らされないから定数にも反映できない。議員がどんどん情報発信すれば報酬にも反映できる。ただ内容には気を付けなければいけない。
西川副委員長	報酬審のある委員からは、議員個人の活動を市民に知らせることも大事だという意見もあった。
笹田委員	やるなら個人でできるようにしたほうが良い。
牛尾委員長	どちらにしても浜田市議会は個人支給が原則になると思う。改選時は 2 千枚までは認められる。市議会は 2 千枚までは無料。
古森局長	選管のことか。
牛尾委員長	そう。広報費については各々研究しておいてほしい。

(3) その他

牛尾委員長	その他あるか。
笹田委員	いつの議会運営委員会か。
古森局長	16 日（月）に議会運営委員会をする予定。予備日。
牛尾委員長	その他あるか。 (「なし」という声あり)

議題 3 行政視察について

牛尾委員長	説明をお願いします。
篠原書記	(以下、資料 5 をもとに説明)
牛尾委員長	公用車で移動することを考えると、それほど怖がることはないと思う。すでに確定して、受けてもらっているのは是非やりたい。4 月がどういう状況になるか分からないが。延期ではなく実行するといことでよろしいか。 (「はい」という声あり)
牛尾委員長	豊岡市は平成 20 年に向こうからお越しになり、報道が入った記憶がある。宝塚市は自由討議が盛んなところ。 質問事項を出さないといけないな。

篠原書記 今月いっぱいまでに質問事項を事務局まで、メールでも良いので出してほしい。

牛尾委員長 これだけは聞きたいということがあれば事務局へ提出いただきたい。他にはよろしいか。

(「はい」という声あり)

牛尾委員長 食事はなるべく個室を取っておいてもらう程度の気は使ってもらった方が良くもしいかな。

この件は以上でよろしいか。

(「はい」という声あり)

議題4 その他

牛尾委員長 その他。事務局から。

篠原書記 議長なんでもメールを送らせていただいた。2月29日、市民の方から届いた。

(以下、資料をもとに説明)

会派代表質問について議論してきた経過があるので、参考にこの資料を配布した。

牛尾委員長 代表質問のあり方について、何度も協議してきた。会派代表者会議でも調整をしたが結果として至らなかった。それはやむを得ないと思う。

画面を見てこういう反応が市民から出るということは、会派に持ち帰って議論してもらわないとならない。私もケーブルテレビを見たが、下を見て一気にしゃべりまくっているのを見ると、あれが代表質問なのかという素朴な印象を持った。再質問には個人一般質問のような内容もあったように思う。各会派の事情もあると思うが、こういう指摘があったことを会派に持ち帰り、どういう話をしたか次回に報告していただきたい。

古森局長 議長もこのメールをご覧になった。次の議会運営委員会で議長から言ってもらおうことにしている。

牛尾委員長 ということで、よろしく願います。

次回の日程について決めたい。

(次回の日程調整)

牛尾委員長 3月27日(金)の10時からとする。

以上でよろしいか。

(「はい」という声あり)

牛尾委員長 では第6回の議員定数等議会改革推進特別委員会を終了する。

(閉議 15時25分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議員定数等議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 (印)